

東大和

平成19年(2007年)  
1月1日



市議会  
だより

211

発行：東大和市議会  
編集：議会報編集委員会  
〒207-8585 東大和市中心3-930  
TEL 042(563)2111 FAX 042(563)5926  
E-mail : gikai@city.higashiyamato.lg.jp

謹賀

…平成19年…

新年



「新春の悦び」 撮影：渡辺芳弥さん（南街在住）

|      |     |     |      |      |      |      |      |       |      |       |      |      |     |     |       |      |             |      |     |     |    |
|------|-----|-----|------|------|------|------|------|-------|------|-------|------|------|-----|-----|-------|------|-------------|------|-----|-----|----|
| 尾崎保夫 | 小久学 | 中二美 | 佐間信雄 | 村崎光夫 | 木下正民 | 関田宏一 | 関原洋子 | 西川杜太郎 | 石野庄一 | 粕谷洋一郎 | 中村憲二 | 森田由子 | 二宮瀨 | 長瀬治 | 大后久美子 | 粕谷治雄 | 議員<br>（議席順） | 押本治雄 | 副議長 | 松浦誠 | 議長 |
|------|-----|-----|------|------|------|------|------|-------|------|-------|------|------|-----|-----|-------|------|-------------|------|-----|-----|----|



# 新春を迎えて 今年の抱負

(各党派内の写真は右上から  
議席順に掲載しています。)



## 新政会

### 市民との協働で 効率のよい市政を推進します

輝かしい新春を心よりお慶び申し上げます。政府は「経済財政運営及び経済社会の構造改革に関する基本方針2006」において、2010年代初頭における国・地方を合わせた基礎的財政収支の黒字化を目指して進める「歳入・歳入一体改革」を明記し、改革の取り組みの具体的な方向性を定めました。地方財政に関しては、国の取り組みと歩調



粕谷 洋右



押本 治雄



石川 庄太郎



森田 憲二



中村 庄一郎

安全に生活できるまちを築くため、ユニバーサルデザインを基本とし、市民との協働で効率のよい市政を今後も引き続き推進します。本年も、次の施策の実現に向けて最大限の努力をいたします。

一、財政  
・財政改革・バランスシートの活用・NPO、PFIの活用と支援  
・市民参加型の運営

二、教育  
・校舎の耐震化・防犯対策の充実  
・教育ボランティア制度の充実  
・スクールカウンセラーを小中学校に配置  
・教育環境の充実

三、福祉  
・少子化、高齢化対策  
・高齢者の健康増進  
・保育園待機児の解消及び延長保育の拡大  
・子育て支援の充実  
・総合福祉センターの建設

四、防災・防犯  
・災害に強いまちづくり  
・防犯施設の耐震強化  
・災害時の要援護者対策  
・交通安全対策  
・児童、生徒に対する防犯対策の強化

## 公明党



松浦 誠



下条 学



尾崎 信夫



佐村 明美



中間 建二

### 「政策実現力ナンバーワン」の 議会活動をめざします

晴れやかな二〇〇七年の新春を心よりお慶び申し上げます。私も議員の四年間の任期も、残すところあと四カ月となりました。この間、多くの市民の皆様真心からのご支援を賜っており、すこぶすこぶ感謝申し上げます。公明党は、選挙で掲げた政策、

ス、防犯カメラの設置をはじめとした学校の安全対策などを強力に推進してまいりました。また、学校教育の充実のために、基礎学力の向上のための少人数学習の推進、学校図書館指導員の配置などを進めてまいりました。さらに、子ども家庭支援センター事業をはじめとした子育て支援策の充実、介護予防事業の推進など、数多くの実績を残すことができました。どこまでも「政策実現力ナンバーワン」の議会活動をめざして、全身全霊を尽くして取り組んでまいります。

一、行政のスリム化と効率的で健全な行政運営をめざします  
二、暮らしと健康を守る福祉の充実を推進します  
三、安心安全の防犯・防災対策を強化します  
四、震災に備えた防災体制を整備  
五、男女共同参画社会の推進

六、環境  
・環境基本条例の制定  
・木製品のリサイクルセンターの設置  
・作業所、常設展示場  
・こども広場がない地域への開設  
・循環型リサイクルシステムの確立  
・ごみ減量化  
・狭山丘陵の保全

七、都市農政  
・地産地消の推進  
・地域密着農業の確立  
・生産緑地の推進  
・体験型市民農園の整備

八、都市整備  
・都市計画道路の整備促進  
・市道、歩道の管理強化  
・狹隘道路の整備促進  
・パリアフリーを基本とした道路整備促進  
・市内交通網の整備  
・ちよこバスの全地域運行  
・コミュニティバスの相互乗り入れ

## 東大和21



長瀬 りつ



粕谷 久美子



二宮 由子



大后 治雄

### 夢と希望の持てる まちづくりを目指して

戦後六十一一年が経過して地方自治は本場に根づいたのでしょうか。全国の自治体・自治体職員をめぐる不祥事は、地域行政そのものに對する住民の信頼を失墜させています。また、国政も国民の不安格差を拡大・戦争・環境破壊などをより強くする方向へと動いています。日本全国にこの自治体も財政難の中、自治体間の格差も広がっています。三年前に財政非常事態宣言をした我が市は、宣言の解消どころか、さらに悪くなっています。自治体がランクづけされる、どこに住むか、自治体は選ばれる時代になってきているのです。私た

ちは東大和の将来に大きな危機感を抱いています。地方自治の担い手としての市職員・市議会は、このまことに暮らす住民の生活を守り、安心と希望を持って暮らせる地域づくりのために、全力を挙げて、市が抱える問題に取り組みなければならぬと考えます。政治は未来への夢であり希望です。本年、4月には都知事選挙、市長・市議会議員選挙、7月には参議院議員選挙が行われ、日本の政治と社会の行く末を決める重要な年になります。市民の不安を拡大させる政治は、一刻も早く転換させ、新しい魅力ある選択肢を提

案し、市民のためにより豊かな施策の実現に取り組んでまいります。自治基本条例の制定  
☆公契約条例の制定  
☆形だけの市民参加ではなく、市民の力が活かされる市民参加を進める  
☆学校や公共施設の耐震化促進  
☆防災用品備蓄内容の充実と備蓄庫設置場所の拡大  
☆災害弱者支援対策の強化  
☆市民による環境基本計画実践のための行動指針づくり  
☆雨水浸透ますの設置など、雨水利用を積極的に進める  
☆ごみ半減への多様な取組の推進  
☆学校のいじめ・暴力への厳正な対応と、スクールカウンセラーの全小中学校配置  
☆学校図書室の整備・充実と専任の図書司書の早期全校配置  
☆市立図書館の開館時間の延長とウィークデー祝日開館の検討  
☆障害者自立支援法の早期見直しと総合福祉センター建設の検討  
☆住み慣れた地域で生活ができる地域密着型介護サービスの整備  
☆すべての交通弱者の移動手段の保障・充実  
☆子育て相談活動の充実と多様な保育形態への対応・支援  
☆子ども居場所づくりは、子どもも参加を進める  
☆都市農業を守り、多様な担い手の育成と、市内業者と連携した地産地消を積極的に進める  
☆補助金の徹底見直しと、透明性  
☆公平性の徹底の推進  
☆税金のむだ遣いの徹底チェックと議会改革の推進

## 自民クラブ



関田 正民



木下 光雄

### 市民本位の行政サービスの推進に 行政と一体となって改革に努力します

謹んで新年のお慶びを申し上げます。日ごろから議会活動に対するご理解とご協力を厚く御礼申し上げます。国は景気拡大が高度成長期の「いざなぎ景気」を超えたとおっしゃいます。この要因として企業への好調による法人税の増加などを挙げております。しかし、我が国は今、人口減少社会に入り、少子高齢化が一層進み社会保障費の自然増は必須であり、その対応のために従来にも増して歳入歳出の一体的な改革への取り組みが必要となっております。私たちの生活は、まだ所得の伸びが鈍化し個人消費もいまだ低迷が続く、国が言っている景気が回復したという

実感がないのが実情であります。市の状況は、自主財源である市民税法人税割の大幅な増加があるものの、反面普通交付税の大幅な減額等、歳入全体の見通しの確保が困難な状況となっております。加えて国の「三位一体改革」による税源移譲の問題等から市財政に及ぼす影響が現時点では不透明であり、さらに歳出では義務的経費の扶助費の増大等から財政の硬直化が懸念されています。このような状況下ではあります。昨年度は、総合福祉センター計画、自動体外式除細動器の公民館等各施設設置、小学校不審者侵入防止のための防犯カメラの設置などの施策が実現されました。

自民クラブは次の施策に努力してまいります。  
○阪神・淡路大震災の経験を生かしたまちづくり  
○緑豊かな狭山丘陵の自然を生かしたまちづくり  
○思いやりのある福祉社会の実現  
○高齢者・障害者にやさしいまちづくり  
○青少年の健全な育成と教育・スポーツの振興  
○健康と医療体制の確立  
○交通不便地域へのちよこバスの運行ルートの拡充  
○台風・大雨対策に、空堀川の改修促進  
○郷土美術館の早期開園と学芸員の増員  
○特色ある商・工業と都市農業の振興  
○産業振興基本条例の制定  
○交通安全対策の充実と安心して暮らせる安全なまちづくり  
○武蔵村山市シヤトルバスの芋窪地域への乗り入れ  
○市民との協働による効率のよい市政の推進  
○消防団活動充実への支援  
○東大和署への警察官増員の働きかけ  
○障害者・児の就労支援  
○2025年度「多摩国体」の働きかけ  
○本年も皆様の変わらぬご支援をお願いいたします。

第1回臨時会  
開催期間 2月13日  
市長提出案件 七件  
第1回定例会  
開催期間 3月3日から3月30日までの二十八日間  
市長提出案件 三十三件  
議員提出案件 三件  
代表質問 七名  
一般質問 十三名  
第2回定例会  
開催期間 6月6日から6月20日までの十五日間  
市長提出案件 十五件  
議員提出案件 十八名  
一般質問 一名  
第3回定例会  
開催期間 9月5日から9月22日までの十八日間  
市長提出案件 二十八件  
議員提出案件 三件  
一般質問 十五名  
緊急質問 一名  
第4回定例会  
開催期間 12月5日から12月19日までの十五日間  
市長提出案件 十五件  
議員提出案件 二件  
一般質問 十四名



# 新春を迎えて

## 今年の抱負

(各党派内の写真は上から  
議席順に掲載しています。)



### 日本共産党



西川 洋一



藤原 宏子

#### 憲法を守り、平和で 安心して暮らせる政治へ全力

あけまして

おめでとうございます。

新しい年、希望を切り開き、市民の生命と生活を守り、安心して子育てができる政治を目指して、日本共産党は全力を尽くします。今、大企業は「好景気」でバブル期を超える大もうけを上げているのに、政府は今年さらに、七千億円規模の大企業減税を行おうとしています。

#### 憲法を守り、平和で 安心して暮らせる政治へ全力

あけまして

おめでとうございます。

他方、昨年は庶民大増税の年となりました。日本共産党市議員団が取り組んだ市民アンケートでは、「七割の方が「暮らし向きは悪くなった」と答えています。追い打ちをかけるように、1月から定率減税が全廃され、参院選後には消費税を増税すると言っています。今、市民生活を守り、暮らしを支える市政が切実に求められています。企業献金を受け取らない

- 日本共産党は、市民の立場ではつきりものが言える政党です。市民の皆様と手を携えて、次の政策の実現を目指します。
- 重税許さず、市民の暮らし応援
- 子どもと教育 小学六年生まで医療費無料化 保育・学童保育の充実と子育て支援 三十人学級の早期実現 校舎・体育館の耐震診断・工事の推進 いじめをなくし生命を大切にす教育
- 高齢者・障がい者 介護保険の保険料・利用料減免制度拡充 老人入院見舞金復活 障がい者施策の充実と負担軽減 総合福祉センター建設
- 市内産業・雇用 若者の雇用促進 労働相談窓口の充実 公契約条例の制定 援農制度の確立
- 環境・平和 まちづくり条例の制定 平和事業拡大 広島市の平和式典への市民派遣 憲法第九条を守る

本年もどうぞよろしく  
お願いいたします。

公職選挙法により、議員(立候補予定者を含む。)が選挙区内にある者に対し、お歳暮・お年賀などの贈りものをする事は禁止されています。また、年賀状などの時候のあいさつ状(答礼のための自筆によるものは除く)を出すことも禁止されています。

新年のごあいさつは、本紙をもってかえさせていただきます。

東大和市議会



### 無所属



関野 杜 成

歯がゆい気持ちです。しかし、私の政策に向けて少しずつではありますが、確実に前進している事を感じています。

#### 《今後の取り組み》

- スピーディーな行政運営
- 地域コミュニティの構築
- 行政情報発信ツールの強化
- 議会の情報発信(議会放映など)子供たちへの

#### さまざまな教育環境の補助

#### 安心して暮らせる街づくりを!

新年明けまして

おめでとうございます。

皆様より市議会へ送り出してください。ただき四度目の新年を迎える事ができました。この四年間、行政改革に携わり、行政の行動の遅さに

### 無所属



小林 知 久

また、昨年行った映画製作やNPO設立の一段の飛躍も図ります。皆様のご協力をお願いいたします。

#### 《市政への私の視点》

- 財政難を言い訳に 理念を忘れていないか
- 市民にわかりやすく 情報提供できているか
- 普段、市役所に行けない 人にも配慮しているか

#### 理想を確かめ

#### さらに進む一年に

明けましておめでとうございます

もう四回目の正月。全く実感がないというのが正直な気持ちです。

今年、改めて市政全般を見渡し、未来をにらんだ理念の構築と必要な処方箋への着手を図ります。

### 無所属



尾崎 保 夫

し、努力すれば、住んでよかったと実感できる、心の通い合う、自然環境に恵まれた、故郷に自立都市に仕上げる事ができます。

ところが、現実には、これまでにない財政危機です。一年の予算を組むのもままならない日々が続きます。まちづくり、安心・安全、農工商業、環境、教育、健康、地域福祉、やることだらけなのに、財政建て直しが最初の課題とは、何とも皮肉なことです。

#### 夢のあるまち 東大和を目指して

明けましておめでとうございます

東大和市を「夢のあるまち」にしませんか。東大和市は可能性をたくさん持っています。都心から三十五キロ、今は、周辺への依存度の高いベッドタウンです。しか